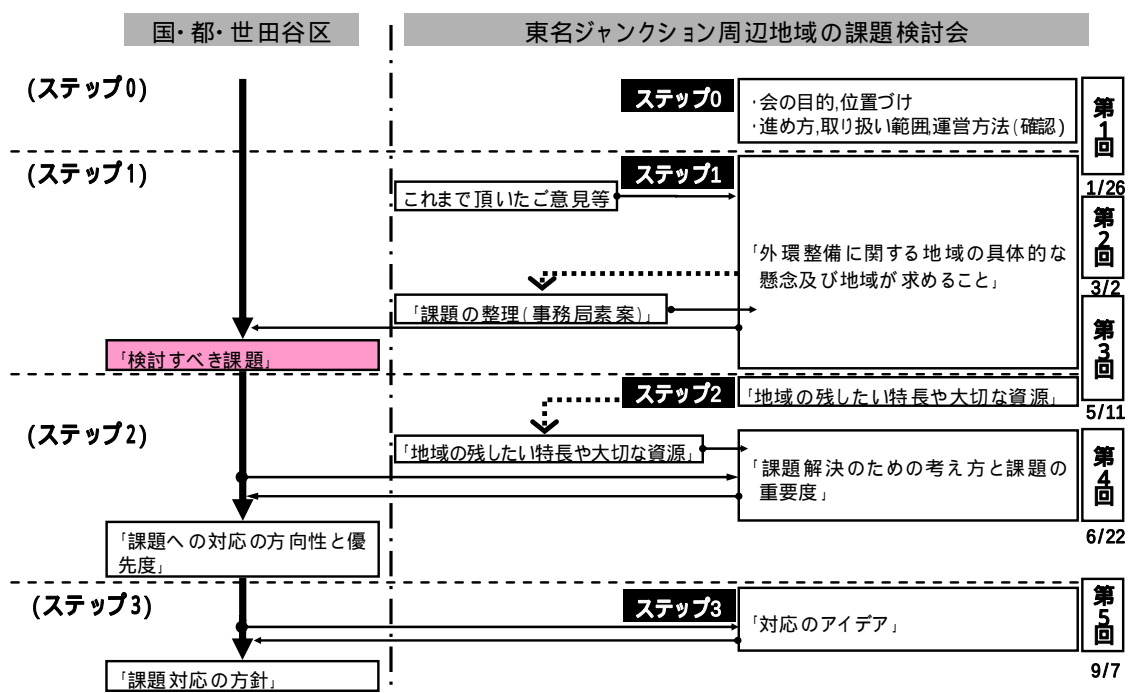


ステップ 1-2

検討すべき課題

- 「外環整備に関する地域の具体的な懸念及び地域が求めること」の意見の趣旨を踏まえて、主催者が外環事業やまちづくりを検討する上でそれぞれの立場から現時点で認識した課題を交通、環境などのテーマで分類しまとめたものです。



東名ジャンクション周辺地域の課題検討会

検討すべき課題

【本資料について】

- ・この『検討すべき課題』は、東名ジャンクション周辺地域の課題検討会においてステップ1の成果としてとりまとめられた『外環整備に関する地域の具体的な懸念及び地域が求めること』を受けて、主催者が整理したものです。
- ・課題検討会で頂いた懸念や期待について、主催者である国・都・区が、外環事業やまちづくりを検討する上でそれぞれの立場から現時点で認識した内容を示しています。

東名ジャンクション周辺地域の課題検討会 主催者

(国土交通省・東京都・世田谷区)

『検討すべき課題』における ジャンクション構造に関する意見の取扱いについて

- 『検討すべき課題』は、当課題検討会「ステップ1」での議論の成果である『外環整備に関する地域の具体的な懸念及び地域が求めること』を受けて、現時点において主催者として、外環整備に伴って予想される影響や効果ごとに分類・整理しております。そのため、計画の要素(ジャンクションなど)ごとの分類・整理とはなっておりません。
- しかし、ジャンクション構造に関して、参加メンバーから多数頂いている地下構造にできないのかといった提案を含むご意見につきましては、主催者として重く受け止めております。
- 今後は検討会での議論を踏まえ、「課題対応の方針」を策定し、測量や関係機関との調整を実施し、地域への影響が小さくなるようジャンクション構造を検討してまいりたいと考えております。

東名ジャンクション周辺地域の課題検討会

『検討すべき課題』 目次

1. 交通	1
(1) 地区交通	
(2) 幹線交通	
(3) 広域交通	
2. 環境	2
(1) 大気質	
(2) 騒音・振動・低周波音	
(3) 地下水	
(4) 動物・植物・生態系	
(5) 緑の量	
(6) 景観	
(7) 日照障害・電波障害・風など	
(8) 史跡、文化財	
(9) 環境一般	
3. まちづくり	6
(1) まちづくり全般	
(2) 地域分断	
(3) 土地利用	
4. 安全・安心	8
(1) 交通安全・治安	
(2) 災害・事故時の対応	
5. 工事中	9
(1) 工事中の交通への影響	
(2) 工事中の環境への影響	
(3) 工事中の安全性	
6. 用地・補償	10
7. 計画検討の進め方	11
(1) 計画検討全般	
(2) 意見反映	
(3) 情報の提供	

1. 交通

(1) 地区交通

【検討すべき課題】

- ・生活道路の交通量が増え、住宅街での渋滞や住環境の悪化への懸念

○関連する意見の例

- ・生活道路の交通量が増えないようにしてほしい
- ・地域の道路網・段階構成が未整備の状況で、生活道路の交通量が増大し、静かな住宅街の住環境の悪化が懸念される。
- ・喜多見地区は、道路基盤がよくないことから、事業中、事業終了後も含め、渋滞への懸念および交通渋滞を招くことによる大気汚染が懸念される。

(2) 幹線交通

【検討すべき課題】

- ・首都高速3号線や環状8号線、国道246号、多摩堤通り、世田谷通りなどの幹線道路の渋滞解消に効果がないのではないかと懸念
- ・環状8号線や、東名東京インターチェンジ周辺をはじめとした周辺交通の混雑についての懸念
- ・ランプの高低差が大きいことによる東名ジャンクションでの渋滞への懸念
- ・環状7号線、環状8号線の混雑改善への期待

○関連する意見の例

- ・環状8号線などで渋滞の発生が懸念される。
- ・外環の終点になることで、現在の大泉のように東名東京インターチェンジ周辺の渋滞の悪化が懸念される。
- ・首都高速3号線、環状8号線、国道246号の渋滞が本当になくなるのか懸念している。
- ・朝夕の渋滞が激しい世田谷通りがさらに激しくならないか懸念される。
- ・吉祥寺や羽田空港等への南北方向の交通アクセスが不十分なため多摩堤通りの渋滞が本当になくなるのか懸念している。
- ・外環を整備しても、東名以南も開通しないと東名高速道路や周辺道路の交通渋滞が解消しない懸念がある。
- ・現計画では、ジャンクションの高低差が大きいので渋滞することを懸念している。
- ・環状7号線、環状8号線の混雑改善を期待している。

(3) 広域交通

【検討すべき課題】

- ・東名ジャンクション以南の検討が進まないことによる懸念
- ・外環の東名ジャンクション以南への延伸により交通渋滞の改善や利便性が高まることへの期待

○関連する意見の例

- ・東名ジャンクション以南の計画の目処が立たないことや、同時に整備されないことには、本線やジャンクション周辺の地域の道路にまで渋滞を招くことが懸念される。
- ・東名以南を含め、外環を東京湾へ通じさせる計画を大前提として検討してほしい。
- ・東名以南の外環計画はアクアラインに直結するなど、利便性の高い計画にしてほしい。
- ・外環が環状道路として整備されることで、首都圏の高速交通網が完成し、渋滞が解消されることが期待できる。

2. 環境

(1) 大気質

【検討すべき課題】

- ・ 周辺に教育施設や医療施設が多く、換気所やトンネル坑口から漏れ出す排気ガスによる大気質への影響についての懸念
- ・ ジャンクション構造物や換気所並びに国分寺崖線等の地形において季節や気象条件に応じて空気が吹きだまることなどによる大気質への影響についての懸念
- ・ 勾配のあるジャンクションにおける減速・加速や、料金所における渋滞、停止・発進による排出ガスの大気質への影響についての懸念
- ・ 東名以南が整備されないことによるジャンクション周辺等の渋滞による大気質への影響についての懸念
- ・ 換気塔の高さが十分ではないのではないかとの懸念
- ・ 外環整備による交通円滑化により首都圏全体の大気質や渋滞の改善への期待
- ・ 換気所の性能や故障時の対応等についての懸念

○関連する意見の例

- ・ 外環整備による、大気汚染の悪化に懸念がある。
- ・ 排気ガスの影響については、換気所からの排気のみならず東名高速道路からの排気ガスなど、影響が広範囲にわたることを考慮し、現状の影響も考慮した調査をしてほしい。
- ・ トンネル内の排気ガスが、換気所ではなく、トンネル坑口から出るのではないかと懸念される。
- ・ ジャンクションの大構造物が大気の流れに影響を与え、大気の吹き溜まりができ、排気と重なり、大気汚染が一層増大する事が懸念される。
- ・ ジャンクションをドーム構造にした場合、国分寺崖線との間がくぼ地になるため、大気汚染が懸念される。
- ・ 大蔵6丁目は西風の影響を受けるため、外環の開通により排気ガスによる大気汚染が懸念される。
- ・ 田直地区や国分寺崖線など換気所周辺に排気が溜まることで影響が大きくなるのではないかと心配している。
- ・ 外環が整備されることで、首都圏の高速交通網が完成し、大気汚染や渋滞が解消することに期待できる。
- ・ 急勾配のジャンクションの道路を通過する自動車排気ガスの発生を懸念している。
- ・ 停止発進があり坂道であることを考えると、料金所周辺の排ガス汚染が懸念される。
- ・ 料金所における排気ガスの影響に懸念があるため、ETC 限定の料金所にして環境への影響を低減することを望む。
- ・ 周辺地域は地形の高低があるため、近隣地域への影響を考えると、換気塔の高さ 30m で大丈夫か懸念がある。
- ・ 喜多見地域の教育施設、医療施設などの周辺で、換気所から排出ガスの最大着地濃度が発生することを心配している。
- ・ 外環が東名まで整備された場合と東名以南まで整備された場合と比べて利用交通量を比較した場合、東名以南まで整備されない場合ではジャンクション利用交通量が3倍くらい多いため、大気質への影響を考慮して東名以南を整備して欲しい。
- ・ 大気質の悪化が子供の健康に及ぼす影響が心配。
- ・ トンネル内の渋滞や換気施設の故障で、ドライバーや同乗者が危険な状態にならないかの懸念。

(2) 騒音・振動・低周波音

【検討すべき課題】

- ・ 換気所やジャンクションの周辺地域での騒音や振動、低周波音への懸念
- ・ 野川沿いの大深度部分での振動への懸念

○関連する意見の例

- ・ ジャンクションに接する地域の騒音による影響を懸念している。

- ・マンションの下にトンネルが通ると振動(低周波音)の影響が懸念される。
- ・料金所付近からの騒音が崖線上部に上がってこないか懸念される。
- ・低周波音の影響を懸念しているため、透明な防音壁の設置により影響が低減することを望む。
- ・換気所の騒音が懸念される。

(3) 地下水

【検討すべき課題】

- ・野川の河川水や地下水、国分寺崖線周辺等の湧水などへの影響についての懸念
- ・地下水の変化に伴う地盤の沈下が起こるのではないかと懸念
- ・地下構造物の影響により地下水が遮断され、大雨時の排水能力についての懸念
- ・生活用水への影響についての懸念

○関連する意見の例

- ・事業近接地での地下水の涸渇が懸念される。
- ・外環整備による地下構造物の影響により、湧水の涸渇、地盤沈下の進行が懸念される。
- ・成城3丁目公園など、国分寺崖線に湧水が4箇所あり水量が減少しないか心配である。
- ・野川に流れる地下水脈が涸れ野川に瀬切れ状態が生じないか懸念される。
- ・工事を経たあと、地下水(井戸)の水量、水質、pHが保たれるのか心配している。
- ・喜多見大橋付近では湧水が多い。この辺りではこの水を生活用水、飲料水に使っている人もいるので、枯渇したり水質への影響が出るのではと心配だ。
- ・地下構造物により地下水が遮蔽され、大雨時に洪水にならないか心配している。

(4) 動物・植物・生態系

【検討すべき課題】

- ・国分寺崖線の樹林が減少するなどの影響があるのではないかと懸念
- ・神明の森みつ池のホタルや田直公園のカワセミ、野川の魚、オオタカをはじめとした野鳥などの生息・生育環境がなくなってしまうことへの懸念
- ・道路照明の影響で生態系などに影響が出ることへの懸念

○関連する意見の例

- ・外環整備により国分寺崖線の環境変化が懸念される。
- ・野川の魚の生存や生態系の変化、遊歩道の景観悪化を懸念している。
- ・野鳥が住めるような自然環境を維持してほしい。
- ・神明の森みつ池は、ホタルの生息地であり、環境への影響が懸念される。
- ・カワセミの生息環境を保全できる対策を行いたい。川に住めず田直公園に巣を作っているカワセミの生息環境が道路建設によりなくなってしまう。
- ・走行車両や排気のためのジェットファンによる振動(低周波音)がオオタカの営巣活動に影響しないか懸念している。
- ・地下からの微振動がオオタカの営巣活動に影響しないか心配。
- ・都内でも有数の野鳥の生息環境を保全できる対策を行いたい。サギ、アオサギ、ムクドリ、ヒヨドリ、カモ、ツグミ、セキレイ、カワセミなどの野鳥の生息環境がなくなってしまう。
- ・生態系へ影響が出た場合の対応に懸念がある。

(5) 緑の量

【検討すべき課題】

- ・ 殿山など地域の緑地が減少しないかとの懸念
- ・ 環境施設帯などで、緑と触れ合える環境の創出への期待

○関連する意見の例

- ・ 国分寺崖線(殿山)の減少が心配。
- ・ 環境施設帯は、なるべく緑化してほしい。
- ・ 現在の農地を活用して緑豊かな大規模公園を整備するなど、外環整備により失われる緑を代替する緑を創出してほしい。
- ・ 仙川及び野川の両岸に植樹し、右岸に次大夫堀公園一帯の緑をつなぐ良好な遊歩道を整備するなどにより、緑と触れ合える環境をつくってほしい。
- ・ 外環道周辺の私有地の緑とのつながりも考慮して周辺の緑を最大限保全・創出してほしい。

(6) 景観

【検討すべき課題】

- ・ ジャンクション構造物が整備されることによる旧御料林などが残る野川一帯から国分寺崖線、喜多見地域の自然、多摩川等の景観への影響についての懸念
- ・ 東名高速道路の上を通るランプや換気所の設置により、喜多見地域の田園風景など、地域の景観への影響についての懸念
- ・ 美しい景色が望める殿山などの貴重な視点場が失われることへの懸念
- ・ 高架下が殺風景にならないかとの懸念
- ・ 整備される施設のデザインが周辺と調和がとれるのかとの懸念
- ・ 野川一帯から殿山までの田舎の風景を活かした計画への期待
- ・ 環境施設帯に高木を植樹するなどにより、景観に配慮した計画への期待

○関連する意見の例

- ・ ジャンクションや換気所などの設置による周辺地域での景観への影響が懸念される。
- ・ 喜多見5丁目などから国分寺崖線を見る風景への影響が懸念される。
- ・ 計画されている東名ジャンクションの形態では、喜多見地域の自然景観、風景資産、国分寺崖線、多摩川の風景に対する配慮がない。
- ・ この土地の良さとして、御料林、緑、大きな木などが残る野川一帯から殿山までの田舎の風景を活かした計画となることを期待する。
- ・ 国分寺崖線上から眺める風景や、野川沿いから崖線を眺める風景は次世代へ渡す地域の財産である。ジャンクションや換気所などの高さが景観に影響することが心配。
- ・ 御岳山から六郷まで一望できる殿山が削られた場合、この地域で一番眺望の良い場所がなくなること懸念がある。
- ・ ジャンクションの高架下空間は資材置き場など殺風景な場所が多く、この場所でもそうした殺風景な場所になるのではと懸念される。ジャンクションの高架下空間の景観的配慮を期待する。
- ・ 換気所は周辺と調和したデザインを考慮したものとしてほしい。この計画を地域活性化の機会としたい。広い視野をもった計画を期待する。
- ・ 環境施設帯に高木を植樹するなどにより、外環整備による大気質の汚染、景観の悪化に配慮した計画としてほしい。
- ・ ジャンクションは東名高速道路より高い位置を通るので、高さの面で景観上懸念がある。景観上は出来るだけ地上部に道路が出ない方が望ましい。
- ・ ジャンクションの威圧感を心配

(7) 日照阻害・電波障害・風など

【検討すべき課題】

- ・ジャンクションや換気所などの構造物による周辺地域への日照や風の影響、電波障害などへの懸念

○関連する意見の例

- ・周辺を囲まれることによる日照の変化に配慮すべき。
- ・電波障害の影響について心配である。
- ・殿山の上の地区は、現状でも風の影響が非常に強い。換気所が近くに建設されるので、ビル風が生じて影響がでないか心配である。

(8) 史跡、文化財

【検討すべき課題】

- ・大六天神社がなくなることへの懸念

○関連する意見の例

- ・環境施設帯の予定区域内にある大六天神社がなくなることが心配。環境施設帯の幅を狭くするなどの工夫で対応できるとよい。
- ・ジャンクションにより地域の歴史、文化が壊れることを懸念

(9) 環境一般

【検討すべき課題】

- ・PM2.5やヒートアイランドなど現在の環境基準で定められていない項目に関する懸念
- ・コストを優先して環境への影響が軽視されるのではないかと懸念

○関連する意見の例

- ・喜多見3丁目から大蔵5丁目の東名に沿った部分で、夏期に東京湾から野川沿いに吹く南東の風がジャンクションや換気塔に妨げられ、面的にヒートアイランド現象が発生する懸念がある。
- ・SPMよりも新たに懸念されてきているPM2.5への対応が心配。
- ・コストを優先して環境を軽視されることが懸念される。

3. まちづくり

(1) まちづくり全般

【検討すべき課題】

- ・地域の歴史・文化が壊されるのではないかと懸念
- ・ジャンクション周辺部に隘路が多く、緊急車両の通行等の非常時への対応に關しての懸念
- ・地域の歴史や文化、風景を大切に、デメリットの解消だけでなく地域にとってメリットが享受できる計画への期待
- ・地域のまちづくりに貢献し、地域の発展や活性化に寄与することへの期待
- ・環境施設帯を利用して、生活道路機能の確保することへの期待
- ・東京にあつては貴重な水、緑、きれいな空気や、動植物が生息する環境などに配慮した計画となることへの期待
- ・国分寺崖線や野川などの豊富な自然や農地などに親しみやすい地域となることへの期待
- ・地域の歴史や古くから残されている文化遺産やこの地域の歴史を尊重することへの期待
- ・自然や歴史が織りなすこの地区の風景や景観を活かしていくことへの期待

○関連する意見の例

- ・地域へのデメリットを最小限にしてほしい。地域にメリットがあるような整備をしてほしい。
- ・地域の歴史や風景を壊さずに、高めるようなジャンクションにしてほしい。
- ・地域の歴史、文化を重くしっかり受止めた計画とすることが大切である。
- ・喜多見3丁目の高架下を、駐車場や仮設小屋などで有効に活用してほしい。
- ・環境施設帯を利用して、生活道路機能が確保できるようにしてほしい。その際には、環境施設帯の効果が弱まることないように留意してほしい。
- ・野川沿いの道は住民の憩いの場となっているため、残してほしい。
- ・細い生活道路しかなく大型の緊急車両が入れない喜多見6丁目などのジャンクション周辺地区で、災害時対応のまちづくりがないことへの懸念があるため、外環整備と一緒にジャンクション周辺地区の災害対策を考えてほしい。
- ・東京にあつては貴重で、住む人にとって財産である水、緑、おいしい空気、歴史、文化遺産、景観が残されることが大切。
- ・東宝ビルド周辺の自然林、野川やみつ池の水とそこに生息する動植物などの長い時間をかけて自然が作り出したものを次代に伝えることのできる地域にしたい。
- ・緑というより、農地の復元をし、農業体験ができるなど自然と親しみがもてるようなまちにしたい。
- ・国分寺崖線や野川、そこに生息する動植物に親しみやすい地域にしたい。
- ・「東京の田舎」の維持と復元をめざし、昔からある資産(農地、小川、里山等)を大切にしたい地域にする。
- ・旧登戸道の沿道を中心とした喜多見の歴史を伝えていく地域にしたい。
- ・東京の田舎であつた古きよき喜多見の風景(農地、殿山、大六天、雑木林、里山の風景)が外環整備によって失われてしまう場合は、復元する工夫をしてほしい。
- ・野川とハケが近いのはここと小金井だけなので、国分寺崖線景観基本軸・緑の生命線・野川・湧水・景観を複合的に保全したい。

(2) 地域分断

【検討すべき課題】

- ・多摩堤通りへのアクセスなど移動の利便性の低下への懸念
- ・既存のバスルートが変更になるなど交通利便性の低下への懸念
- ・喜多見などの地域コミュニティの分断への懸念
- ・大正橋、茶屋道橋、野川水道橋など、野川に架かる橋がなくなると移動が不便になるのではないかと懸念
- ・既存の生活道路の機能が確保されるのかとの懸念
- ・通学路が分断されるのではないかと懸念

○関連する意見の例

- ・現在の多摩堤通りへの道路による利便性が確保されるか心配。
- ・ジャンクション周辺など外環道により分断される最寄のバス停までのルートに代替するバス運行を検討するなど、地域の交通利便性を確保してほしい。
- ・喜多見4, 5, 6丁目の地域コミュニティが分断される事が懸念される。
- ・野川の3本の橋(大正橋、茶屋道橋、野川水道橋)がなくなると移動が不便になることが懸念される。
- ・喜多見5, 6丁目間の生活道路が少なくなるのが心配である。道路網の充実や道路拡幅をしてほしい。
- ・外環整備に伴って生活道路が廃止、変更される場合には、利便性が低下しないように代替を確保してほしい。
- ・現在利用している環境施設帯予定区域内の道路がどのようになるのかが分からず、利便性が損なわれるのではないかと心配している。
- ・喜多見5丁目から砧小学校に通学する児童がいるが、その通学路がどのように確保されるのかという懸念がある。

(3) 土地利用

【検討すべき課題】

- ・地域の農地が減少するのではないかと懸念
- ・地域の人の交流ができる憩いの場の創出への期待
- ・子供の遊び場の減少が懸念されており、子供が遊べる安心できる空間が残されることへの期待

○関連する意見の例

- ・ジャンクションは車両、ドライバーだけのジャンクションではなく、地域の人の交流、鳥獣も交流できるようなジャンクションとして再検討してほしい。
- ・外環周辺の子供の遊び場が減少することに対する危惧がある。
- ・田直公園が現状のように子どもを安心して遊ばせられる生活環境を維持して存続できるのかという懸念がある。
- ・緑地部分を地域に開放して緑地・農地として活用させてほしい。
- ・地区会館の改修、図書館、体育館の建設などの地域施設の充実を行ってほしい。
- ・換気所周辺に緑地公園を建設するなど、地域の憩いの場にしてほしい。
- ・環境施設帯の空き地へ区民利用施設を設置するなど、事業により影響を受ける地域にメリットがもたらされることを期待する。
- ・次大夫堀公園脇の農地で、ジャンクションが出来ることにより街路灯の明かりの影響で、作物が育たなくなることが懸念される。また、「せたがやそだち」を作っている農家では、世田谷区内の学校や区民に野菜の供給出来なくなることが懸念される。
- ・周辺住民の生活や地域の農作物への影響も懸念される。

4. 安全・安心

(1) 交通安全・治安

【検討すべき課題】

- ・ 通学路における交通の安全性の確保についての懸念
- ・ 高架下や環境施設帯などが人目の届かない空間となることによる治安の悪化への懸念

○関連する意見の例

- ・ 喜多見小学校への通学路の安全性悪化を懸念している。
- ・ ジャンクション周辺の環境施設帯が、人気がなく殺風景になったり、知らない人たちのたまり場になったりしないか懸念される。
- ・ 高架下空間は現状でも落書きや知らない人の溜まり場になっているため、ジャンクション整備でも同じ状況が起こるのではないか懸念される。

(2) 災害・事故時の対応

【検討すべき課題】

- ・ トンネル内での火災や地震など災害時の対応や避難方法に関しての懸念
- ・ 外環本線での火災などの災害が発生した際のトンネル地上部など周辺地域への影響に関しての懸念
- ・ 高架構造のランプにおいて、地震時の倒壊や事故の火災等による周辺地域への影響に関しての懸念
- ・ 野川への排水系統が分断され、冠水するのではないかと懸念

○関連する意見の例

- ・ トンネル内で火災などが発生した場合、避難方法や地上部分の生活への影響などが懸念される。
- ・ 高速道路と周辺道路の緊急時のつながりが考えられていないことへ懸念がある。
- ・ 災害時の避難路について懸念があるため、側道整備を望む。
- ・ 活断層による地震被害が懸念される。
- ・ 火災等の災害時での周辺地域への影響
- ・ 地下は河原なので地盤が弱い、ここへ高架道路を作ると地震で倒れるのではないかと心配
- ・ 異常気象時の対応で外環により地域の雨水等処理系統が分断されるのではないかと心配している

5. 工事中

(1) 工事中の交通への影響

【検討すべき課題】

- ・ 工事車両による世田谷通りや多摩堤通りの渋滞や、その周辺地域を含めた交通安全性の低下への懸念
- ・ 工事期間中の生活道路機能の確保についてへの懸念

○関連する意見の例

- ・ 工事車両により、道路基盤が整っていない世田谷通りや多摩堤通り周辺で、新たな交通集中と渋滞が発生しないか心配だ。
- ・ 周辺地域において、工事車両による事故など、日常生活への影響が懸念される。工事車両数が非常に多いので、搬入出は東名高速道路に直行するなど、周辺地域の道路に工事車両が流入しないよう考慮してほしい。
- ・ 工事期間が長期に渡ると思うので、完成後だけでなく工事期間中の生活道路機能の確保も検討する必要がある。

(2) 工事中の環境への影響

【検討すべき課題】

- ・ 工事に伴う騒音・振動、粉塵による環境への影響についての懸念
- ・ 工事に伴う大気質、地下水、土壌への影響についての懸念
- ・ 工事で発生した土が汚染されていた場合、その処理についての懸念

○関連する意見の例

- ・ 工事中の光化学スモッグ、粉塵、振動、騒音による住環境の悪化や健康被害が懸念される。
- ・ 掘り出される土が土壌汚染されている可能性もあり、残土の処理方法が心配である。
- ・ 開削工事における地下水の遮断を懸念している
- ・ 工事における補助工法での凍結工法などによる土壌・地下水環境への影響を懸念
- ・ 工事車両の停車時のアイドリングによる排気ガスを懸念している。
- ・ 地下を掘った場合には土が酸化して地盤が弱くなることもあると聞いている。特に新しい工法となるトンネル合流部である神明の森みつ池付近での影響が気になる

(3) 工事中の安全性

【検討すべき課題】

- ・ 工事中における子供の安全への懸念
- ・ 工事中における地域の風紀悪化への懸念

○関連する意見の例

- ・ 工事中の子ども達の安全性を確保できるように、スクールゾーンへの工事車両の通行規制などを行ってほしい。
- ・ 工事で人が地域に出入するので、地域の風紀の悪化が懸念される。
- ・ 工事事業者のモラルやルールが懸念される。

6. 用地・補償

【検討すべき課題】

- ・代替地(農地)の確保や補償などへの懸念
- ・地権者へ個別に丁寧な対応をすることへの期待

○関連する意見の例

- ・移転時期などの条件が不明確なため、住宅の補修時期を決めかねるなど、将来の生活設計が不安である。
- ・今の年齢からして、今後の家探し、引越し先などはとても懸念される。
- ・移転補償や条件などに関する事は、自分勝手な話と思われるのが嫌で、周辺住民の多い検討会では発言しにくく、自分たちの意向が国に伝わらないことに懸念がある。
- ・現在の農地から大幅に土地が削られて、少しだけ残った場合、農業も出来ないし、売る事も出来なく生活設計が懸念される。
- ・生産緑地で現在農業を営んでいるが、そこを手放す事により、農業をやめてしまう事になる。買い取り制度や代替地、税制上の措置などがどのようになっているのか懸念される。
- ・現在農家を営んでおり、今回のジャンクション工事により、土地がなくなり農業が続けられなくなる事が懸念される。
- ・計画変更後も計画線にかかる地域に特に説明がない。こちらから聞かないと知る事もできない事への不安、不満がある。道路用地にぎりぎりかからなかった土地や建物の住民への補償が十分されるのか心配。

7. 計画検討の進め方

(1) 計画検討全般

【検討すべき課題】

- ・ 外環の整備効果が十分発揮されるのかとの懸念
- ・ 人口動向等を踏まえた将来の交通量に合った計画となっているのかとの懸念
- ・ 地質や地下水などの調査が不足しているのではないかと懸念
- ・ 長期的に見てコスト面で無駄がないなど、適切な計画となることへの期待
- ・ 最新の技術が活用されることへの期待

○関連する意見の例

- ・ 根本的に外環の必要性に懸念がある。外環整備効果として示されているデータには恣意性も指摘されており、指標としての信憑性に欠ける。それらの信頼性と妥当性を事例を示しながら説明してほしい。
- ・ 税金の無駄遣いによる利用料の高騰など、長期的に見てコスト面で無駄のないように十分検討してほしい。
- ・ 通過交通量や経済効果のデータの信憑性を示してほしい。
- ・ 地盤沈下への影響などを確認するためのボーリング数が少なく、大深度地下への影響がわからない。
- ・ 成城地域を含め、ボーリング調査の箇所数を増やすなど、地下水の調査をもっと詳しく行ってほしい。
- ・ 最新の技術を駆使することを期待する。

(2) 意見反映

【検討すべき課題】

- ・ 工事中や供用後の環境悪化等の問題が生じた場合の対応への懸念
- ・ 地域課題検討会での意見が計画に反映されないのではないかと懸念
- ・ ジャンクション構造などを複数案提示し、住民の意見を聴くことへの期待
- ・ 外環が整備された後もPIを継続することへの期待

○関連する意見の例

- ・ 完成後に現在では想定できない問題が発生するだろう。モニタリングだけでは不十分であり、想定外の問題に対応できる体制を備えるべきである。そのためにも、完成後もPI継続すべきである。
- ・ 事業を進める際には、早い段階から行政と住民との話し合いを行う必要がある。
- ・ 東名東京インターチェンジ周辺の人々など、ジャンクション周辺地域以外で外環整備の影響を受ける人々へ意見を聞くなど配慮してほしい。
- ・ 地域課題検討会終了後の国・都・区の役割と連絡窓口を明確にして、住民から連絡しやすくしてほしい。
- ・ 検討会の回数や時間を延ばしても良いので、時間をかけて十分話し合うべき。
- ・ 地域課題検討会で発言した意見が、計画に反映されないのではないかと懸念がある。
- ・ 住民も時間をかけて検討に加わることで納得感が高まるはず。
- ・ 工事中に予期せぬ事態や環境の基準値を超えるなどの想定できない環境悪化が起きたら対応できるのか懸念がある。
- ・ ジャンクションの構造を複数案示して意見を聞いてほしい。

(3) 情報の提供

【検討すべき課題】

- ・ 地域住民への十分な情報提供への期待

○関連する意見の例

- ・ 生活設計ができないので、決めるならば早く決めて、それを伝えてほしい。
- ・ 地域住民が納得するまで、計画内容や経緯を説明してほしい。
- ・ 計画の変更を地権者や地域住民など直接影響がある関係者に周知してほしい。
- ・ 新しく住民になる人たちにも正確な情報を知らせるなど、十分な対応をしてほしい。
- ・ 事業用地内の居住者の多くが地域課題検討会の存在を知らず、居住者に検討内容や事業の進行状況などの情報が伝わっていないことに懸念を持っている。
- ・ 要望を出しても行政から回答がないことを懸念している。
- ・ タイムリーで誰でも分かる情報提供がなされていないことを懸念している。
- ・ 工事の詳細を教えてほしい。
- ・ 工事期間中の工事車両による渋滞や騒音、排ガスについても気になるので、どのようなルートで行き来するのかを明らかにしてほしい。